



いずみざき

平成24年  
2月1日 行  
発 行

No. 11

# 議会だより

## 輝く未来の子ども達へ



泉崎第一小学校  
「租税教室」



泉崎第二小学校  
「読書タイム」

### 目次

- |           |      |         |           |
|-----------|------|---------|-----------|
| 2～4ページ……  | 議会報告 | 11ページ…… | インフォメーション |
| 5～10ページ…… | 一般質問 | 12ページ…… | 活動報告・編集後記 |

## 補正予算など16議案を可決

第4回(12月)議会定例会は6日に開会し、13日に閉会しました。議案15件を審議し、すべて原案どおり可決しました。

また任期満了による泉崎村選挙管理委員会委員及び補充員の選挙が行われ、委員4名、補充員4名が当選されました。



一般質問では6名の議員が登壇し質問を行いました。

最終日に、白石正雄議員から「放射能対策特別委員会設置」の動議の提出があり、賛成多数で可決しました。

### ◎審議された議案等

- ・議案第56号 平成23年度泉崎中学校災害復旧改修工事請負契約の締結について
- ・議案第57号 西白河地方衛生処理一部事務組合の解散について
- ・議案第58号 西白河地方衛生処理一部事務組合の解散に伴う財産の処分について
- ・議案第59号 白河地方水道用水供給企業団の解散について
- ・議案第60号 白河地方水道用水供給企業団の解散に伴う財産処分について
- ・議案第61号 白河地方広域市町村圏整備組合規約の変更について
- ・議案第62号 泉崎村税条例の一部を改正する条例
- ・議案第63号 泉崎村国民健康保険税条例の一部を改正する条例
- ・議案第64号 平成23年度泉崎村一般会計補正予算(第6号)について
- ・議案第65号 平成23年度泉崎村国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について
- ・議案第66号 平成23年度泉崎村介護保険特別会計補正予算(第2号)について
- ・議案第67号 平成23年度泉崎村介護老人保健施設特別会計補正予算(第2号)について
- ・議案第68号 平成23年度泉崎村農業集落排水処理事業特別会計補正予算(第3号)について
- ・議案第69号 平成23年度泉崎村住宅用地造成事業会計補正予算(第3号)について
- ・議案第70号 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- ・選挙第5号 泉崎村選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について

#### ●泉崎村選挙管理委員会委員(4名)

#### ●泉崎村選挙管理委員会補充員(4名)

氏名	住所	氏名	住所	補充順位
田崎 康水	関和久字瀬知房15	大森 伍郎	太田川字居平32	1
中野目 好一	泉崎字長峯1	高崎 元	踏瀬字町頭11	2
佐川 博孝	関和久字愛宕町195	菊地 福美	北平山字道下前18	3
中畑 満	泉崎字高屋25-2	緑川 輝夫	関和久字古寺42	4

### 議員発議

◎発議第7号 公的年金の削減に反対する意見書の提出について

◎発議第8号 TPPの参加に反対する意見書の提出について

◎発議第9号 「脱・原発依存」に関する意見書の提出について

難航を極める事故処理の現状をみる限りにおいて未だに収束させることができないことで生活に不安が付きまとい本当の意味での復旧・復興は成し遂げられないと考える。

国はこのような原子力に関する事故対策が確立されていない現状において今回の事故によって放出され続けている放射性物質が人体、自然環境に与える影響を調査・研究を行うと共に地震国日本で原子力発電に変わる新しいエネルギーへの転換が必要である。よって、早く放射性物質の拡散をくい止め、県内の原発全てを廃炉とし原発に依存せずに安心して暮らせるよう措置を講ずるよう強く要望する。(抜粋)

◎発議第10号 自主避難等に対する賠償指針に関する意見書の提出について

文部科学省の原子力損害賠償紛争審査会の指針は、その賠償対象が一部の市町村に限定されており、全く納得のいくものではない。原発事故に伴う放射性物質の被害は県内全域におよび、風評被害、健康不安等大きな打撃を与え続けて、不安と失望と苛立ちを感じている。福島県民全てが被害者であるという実態を審査会は理解していないと言わざるを得ない。23市町村に限定する理由は見あたらない。

よって、福島県民の感情を全く無視した今回の賠償指針を見直すよう強く要望する。(抜粋)

◎動議の提出「放射能対策特別委員会の設置」について

- ・12月13日議会定例会最終日に白石正雄議員より「放射能対策特別委員会設置」の動議が提出され、賛成多数によって、可決されました。

### ◎請願書

◇「公的年金の改悪に反対する」意見書を求める請願

- ・提出者 全日本年金者組合白河支部長

◇TPPへの参加反対の意見書を求める請願

- ・提出者 福島県県南農民組合代表

## 平成23年度 第4回(11月)泉崎村議会臨時会報告

○会期……平成23年11月7日

○議案……2件(原案可決)

◎議案第54号 農業集落排水処理施設災害復旧工事(桧内2-1地区)請負契約の締結について

◎議案第55号 農業集落排水処理施設災害復旧工事(桧内2-2地区)請負契約の締結について



### 一般質問

#### 鈴木清美 議員

- 一、災害農地について
- 二、教育、教育長について

#### 一、災害農地について

鈴木 災害農地の泉崎の補償について実際に実施されるか尋ねます。

村長 矢吹町、鏡石町で助成すると話は聞いています。一反歩当り3千円の助成を、つまり同じくらしいの額を考えたと思っています。

産業振興課長 矢吹町では10アール当り一律に3千円の町商工会発行の商品券で出すようです。鏡石町では被災田の一律の見舞金ではなく、耕運等をした場合には3千円の助成金を支出する状況です。作物等の推進をしたということで金額助成と考えて当村は考えています。

鈴木 原地区、矢吹ヶ原土地改良区の217町歩ある中で22町歩位が矢吹町の所有者がいますが、その方に対しては該当しないということで見ているのでしょうか。

産業振興課長 共済の細目書を基本にしますので、住所のある矢吹町に該当すると思います。

鈴木 今回の地震と台風で



#### 経済文教常任委員会

◎経済文教常任委員会は、付託された「T P Pの参加に反対する意見書の提出について」審査しました。野田内閣誕生後、さらにT P P参加問題は緊迫した状況を迎えております。農業面、そして国民生活にも大きく影響し危機に瀕する事は明らかです。また、農林漁業を基幹とする被災地が復興を目指して頑張っている時にT P Pに参加して復興の足を引っ張ることはできません。このことから参加に反対することを要望し採択しました。

#### 放射能対策特別委員会を設置

◎委員長 白石正雄 ○副委員長 浅野一成

\* 議会として、全議員により放射能の問題を調査研究を進めていく特別委員会を12月議会定例会において設置しました。

1月13日（金）に第2回目となる放射能対策特別委員会を開き、副村長、住民生活課長から「放射能対策の現状と除染計画」について、説明をうけました。次回は、「東京電力福島第一原発事故の現状と見通し、損害賠償」に関する説明を聞く予定です。

#### 「議会中継（録画）及び会議録検索システムが利用できます。」

\* 会議の様子や会議の内容が記録されております。泉崎村のホームページからご覧ください。

泉崎村ホームページアドレス：<http://www.vill.izumizaki.fukushima.jp/>

◎閲覧延べ人数：映像 1,232件（月／64件）：会議録 1,248件（月／65件）

#### 農地の被害田は何ヶ所、被害額はどのくらいですか。

産業振興課長 農地の災害について25ヶ所です。補正に単独予算として300万の金額です。

鈴木 地震で大きな亀裂が入り、15号台風でその亀裂に水が入って大規模に土手が崩れている田の所有者から相談を受けました。田が泉崎で流れた所が矢吹の田なのです。矢吹町は無償で復旧するのですが泉崎村ではどんな考えか。

産業振興課長 自力での復旧が困難な農地災害については村が復旧工事を行い負担金を取らない方向で事業を進めております。

村長 来年の耕作するまで、時期までに行政のほうで手助けし、重機のリース代とか材料を行政で提供して所有者に手助けして耕作に支障のないようにしたいと思います。

鈴木 図書館の利用状況について、運営について。

#### 学校教育課長 利用状況は

登録者数590人、蔵書数9千3百冊、購入32.2%、寄贈が31.1%、資料館にあったもの4.9%、県立図書館から借入31.8%です。インターネット上で予約できるシステムを構築し、第一小、第二小、中学校、中央公民館にパソコンを設置して、図書館の利用を考えています。

鈴木 第一小学校の子供は図書館に行くことが出来ませんが、第二小学校の子供は学区外になりますので、自分で図書館に行くことが出来ませんので司書が図書館にいますので月に一、二回位学校に直接行って子供達に本の読み方、選び方の相談を受けることで図書館利用価値があると思います。

村長 非常に良い発想です。司書の業務の内容、読書意欲を持たせる役目だと思えます。一度内部で進めて真剣に考えたいと思います。

鈴木 教育長はいたほうが良いのか、いないほうが良いのかお聞かせください。辞めていただく理由があっ

#### たのか。

村長 教育長は是非ともおきたいと思いを持って早急に人選を急ぎたいと思います。新しい体制になって、我々の体制で教育長も含めて執行者でやる、慣例です。ので趣旨は理解していただきたい経過でございます。教育委員会全体含めて見直しをしなくてはならないとも考えている。

鈴木 教育長は村内でつくりたいというような考えをお持ちか。

村長 私は村内に限らず、出来れば村内の方がいれば非常に良いことですから、も、そういったことを対象にしている訳ではない。

鈴木 泉崎村教育方針にあった教育長を選んで職員を確保する方向を持って対応して欲しいと思っています。

村長 いろんなルートで人選している。泉崎村のために努力しています。極力早く選びたいと思っています。



### 一般質問

## 飛知和良子 議員



- 一、10月2日実施の通学路の除染について
- 二、地元農産物の生産者からの要望について

飛知和 一、10月2日実施の通学路の除染について、今後どのように進めて行くのかお尋ねいたします。

10月2日の通学路除染を100自治組合の住民の方々、行政の方々にご協力をいただき実施いたしました。ご苦勞様でした。

今後何回か実施する予定かと思いますが予定などお聞かせください。

又、10月2日の除染の結果でありますが、下がっている場所、まだまだ高い所もあり今後、村当局としてどのように把握しているのか。除染した結果を回覧板にて村民に知らせましたが、文字が細かく記憶するのが大変だという村民の多くの声が聞かれました。この辺はいかがなものでしょうか。今回の放射能との関わりがありますのでお聞きいたします。

12月6日の報道ですが、原子力賠償紛争審査会が23市町村全住民に補償するという報道をされました。これは絶対に納得いかないし、おかしい線引きではないのか。

か。26市町村の我々も風評被害、放射能による精神的障害など福島県全部公平でなければおかしい。村長、この件についてどう考えているのかお答えください。

**住民生活課長** 508ヶ所で除染前と除染後の放射線量の調査をいたしましたところ、87%が減少し、13%が増加となった。

今後、公共施設や住宅など優先順位の高いところから作業を進めていく計画を立てているところであります。

**村長** 除染作業の結果については、全村民に報告しました。まだ下がない所、高い所もあるので、村民の方々が理解できるように方法を考えたい。通学路の高い所は子供のために行政で除染を考えて行きたい。泉崎村も1ミリシーベルト以上になるので全体の除染計画を今年中に作成して早急に国に提出したい。

12月6日の補償問題は福島県全体被害を被っているので絶対に容認できない。市町村長、議長、議員一丸

になって徹底的に抗議をして行く。そして撤回を申し入れたい。住民の協力で署名運動をして、今後徹底抗戦する覚悟であります。

**飛知和** 村長の決意は解りました。我々議員も一丸になって行動致したいと思えます。放射線量の除染の結果の回覧板の件ですが、住民の手元にも一部あれば、今後に役立つのではないかと。

**村長** 予算がありますので、全ての住民に配布いたします。

**飛知和** 二、地元農産物の生産者からの要望について。地域懇談会で地元の農産物の生産者から、食品の安全、安心の為、泉崎村独自のシールを発行して頂きたいと要望がありました。村当局はどのように対処するのか。

**産業振興課長** 現在、村では原発事故により放射能検査の為に村内で収穫された農産物を対象に検査を12月5日より始めました。現在のところ高い数値は出ておりませんし、心配ありません。近隣市町村にも尋ねた

ところ、シール発行はしておりません。今後は泉崎村も近隣市町村の動向を見ながら検討いたします。当面シール発行はいたしません。

**村長** 検査機は二台、その後一台と、三台となりますが村でも、サンプルを持ってきて検査した物については安全ですよと簡単ですが、シールを発行すると難し、大きな問題になり補償責任は持てません。村全体の除染が終わった後に考えていきたい。

**飛知和** シールの件は乱用につながる補償の責任にもなり、村が被害を被ることになることは解りました。今後、検査した農産物について数値と場所名の公表をお願い致します。これは村民の要望なので是非お願いしたい。

**村長** プライバシーの問題なので配慮しながら近隣の方の安心にもつながるのでやっていきます。数値の高い所については公表しないで方法を考えていきたい。

### 一般質問

## 鈴木盛利 議員



- 一、上水道・下水道について
- 二、地域懇談会の要望等について
- 三、役場窓口業務について

一、上水道・下水道の官民責任分界点について

**鈴木** 今回の震災後、一つの疑問が浮かびました。上水道の官民責任分界点、このことについてお尋ねします。

**建設水道課長** 昭和三十年代から簡易水道事業を始めた当時から本村では本管分岐点を責任分界点と考えて行っておりますが、実情は敷地の官民境界線と考えております。

下水道ですが本管より民地内(約1m)に村で設置した柵(公設柵)が分界点を定めております。

**鈴木** 下水道は公設柵が分界点、これはこれで良いと思うが、上水道の分界点、これは少し考える必要があるのかなと思うわけです。なぜかと言うと、極端に悪い例を話しますが、敷地内での漏水を見つけたが量水器の針が動いてないし、

工事は自分で頼まなければならぬから放置しようとする

言うような人がいたとすると、お金にならない水が無駄に流れ出し、水道事業の赤字の増大が懸念される。

下水道の公設柵のように官民境界線から例えば、1m近辺に設置するというようなことができないか考えてほしい。

**鈴木** 震災月(三月分)の水道料金の減額処置の事、どのくらいの村民の方々が知っているか? どれだけ減額なのか伺いたい。

**建設水道課長** 企業、個人住宅水道料金の基本料を一律50%減額処置しており昨ラ前年三月分と比較して超過分を一律減額処理しております。

二、地域懇談会での農産物の放射線安全シール発行要望の対処について

**鈴木** 表記について村長の考えを伺いたい。

米ですと県の方で安全宣言した後に福島市、伊達市、二本松市の一部から基準超

えの汚染された米が出て大騒ぎをしている、安易に出すべきではないと思います。

**村長** 抜き打ちサンプルでの検査結果がOKだから安全シールを出すというようなことは大変恐縮ですが今のところ考えておりません。

食べ物には除染ができたときに大丈夫という裏付けになり、自分なり行政で判断したときまでは待っていただきたいと思っております。

**鈴木** 環境放射線量測定値が大信、西郷、泉崎の順に高い、村民が不安に思っている。原因をお尋ねする。

**住民生活課長** 県の担当官との打合せの時に測定時に支障のない所ということ職員駐車場を設定した。その部分が砂利敷き、樹木の多い所になってしまったことが要因と考えております。

子ども達の通学路、室商店前歩道上ですと0.42の値です。

**鈴木** このことに関しては村民の方々、非常に敏感になっておりますので測定場所の変更等できれば検討していただきたい。

三、役場窓口業務について

**鈴木** 休日開庁、業務時間、業務内容等の村民の方々への周知について伺いたい。

**住民生活課長** 平日業務時間延長は午後6時まで、休日は午前9時から午後4時まで、住民関係証明書の発行を行っております。

**税務課長** 税務窓口業務は税務証明、税金、上下水道・公共料金等の一時預かりで翌日納付で行っております。

**村長** 基本的に正月の2、3日を除き全日開庁、社会福祉協議会も福祉センターで業務を行っておりますので利用していただきたいと思います。



### 一般質問

## 岡部英夫 議員

### 一、泉崎村教育長 について

岡部 泉崎村の教育長という事で、質問を出しておきました。先に5番議員からも質問がありました。私なりに聞きたいことがありますが、まず一番目に泉崎村の教育長が辞めた理由についてお聞かせ願います。



村長 繰り返しになりますけれども、就任したときに入れ替えてもよかったと思いましたが、教育長も継続していることがあると思います。話し合った結果で、そのときは継続していただきまして。その後、2月ですか、3月いっぱい、一番大事な時期なんて話ありましたけれども、人事異動は県の教育委員会も一緒、4月からスタートするという事で、それに準じて2月にいろいろ話、協議をさせてもらって、3月いっぱい、ご理解いただいて斎藤教育長がお辞めになったということでもあります。

岡部 辞めた理由ですが、私も数人の議員と一緒に斎藤教育長から実際の話を聞

きました。その話の内容は、今年の2月に副村長から突然に辞める意思が固まったようですが、どうですかと聞かれた、意味がわからず、突然のことで、どういうことなのかと聞くと、ある人に辞めることを話したのですがその意思を確かめたきたといわれたが、斎藤教育長はその人とはそのような話しは一度もしたことがないことを告げて帰って帰ったそうです。その後、村長から財政再建の仕上げは是非村民で仕上げたいといわれ3月末日の日付で辞表を出した。

久保木村長に代わった時点で進退伺いをたてたときには任期を全うしてくれと言われたがこれには政治的な絡みが強いと感じたと言っているのです。私が思うのには村長の考えとは別のものが先に動き、村長が取れるのです。斎藤教育長が3月いっぱいということを考えてから辞表を預るべき

表を出した。久保木村長に代わった時点で進退伺いをたてたときには任期を全うしてくれと言われたがこれには政治的な絡みが強いと感じたと言っているのです。私が思うのには村長の考えとは別のものが先に動き、村長が取れるのです。斎藤教育長が3月いっぱいということを考えてから辞表を預るべき

ではないのか、政治的な配慮が少ないのではないかと、教育長が空白でいるということは大変に重要なことです。斎藤教育長の話は事実なのかも一度お尋ねします。

村長 新しい形でスタートしたいと言う旨を副村長に伝えて話をしていたが、経過はございます。空白をおかないでやるべきだという話ですが任期までやりたいう話の時には尊重しなければならぬ、お膳立てしてからどうぞなんて話には出来ませんでした。

岡部 副村長に意思を確かめるように言ったのは村長以外の人、3月末日付けの辞表が実際に辞めたのは5月末、3月11日の大震災大変な問題が起きていました。これらの解決のために残ったのかと考えました。学校の教育問題放射線量の問題

いろいろ問題で子を持つ親、父兄の方々が大変心配しているときになぜ辞めたのか、ベテランである斎藤教育長に残ってもらいたい対処するのが父兄の方々にも村民の方

にも安心できる策ではなかったのかと思うが、それ以上引き止める意思、気持ちはないのかお聞かせ願います。

村長 震災11日ですから、国、県への報告や引継ぎが出来るまでお願いして、5月いっぱいくらいで引継ぎが出来るとい話があり、その判断のもとで辞めていただきました。

岡部 辞めた経過これは、辞めるほうと辞表をもらうほうとは話が食い違ってくると思いますのでこの辺で辞めます。2番目にこれからの教育長問題、学校の教育長これは大変重要な位置、意味を持っていることだと思います。

重要課題のひとつに教育問題をあげている村長が教育長についてどのように考えているか答弁を聞いて終わります。

村長 空白が決して良いと私、思っておりませんので真剣に努力して1日も早く就任を決めたいというふうに思っております。

### 一般質問

## 白石正雄議員

- 一、久保木村長の病状と政治姿勢について
- 二、大震災からの復興と道路、下水の復旧について
- 三、放射能除染計画と村民の健康被害を防ぐ対策について
- 四、矢吹ヶ原土地改良区受益者負担の軽減について
- 五、18才までの医療費窓口負担の無料化実現について
- 六、固定資産税の引き下げについて
- 七、教育長辞任について



白石 震災と放射線に対する取り組みが遅すぎたのではないかと。二百戸もない長峯地区の、半日で終わる仮復旧も、8ヶ月間も放置してきた。放射線に対する対策も、村内を測定して数値を公表したが、村内高屋地区の「こころや」前の県道通学路などは、9.8マイクロシーベルトもあるのに、ガードフェンスに「高放射能危険」という小学校長名の、小さな看板を5、6枚掲げただけ。10月2日の村内一斉除染まで放置した。対策本部が動かして率先して除染作業を行うべきだったのではないかと。村長の指導責任が問われる。村民の健康被害を防ぐ対策について伺う。

我慢するところはしていた。我慢するところはしていた。住民生活課長 村内の放射線はおおまかに見て、太田川地区、踏瀬地区が高い。村内508箇所線量測定したが、除染後87%で低下し、増加が13%。国が示している年間追加被曝線量1ミリシーベルトは1時間あたり0.23マイクロシーベルトとなり、村内は全域がこれ以上の数値になる。今後は放射性物質汚染対策特別措置法に基づいて除染計画をつくって対応していきたい。

保健福祉課長 内部被爆、外部被爆を防ぐことが大切。中学生以下の児童生徒には、バッチ式線量計を、妊婦には高性能積算線量計を配布して測定している。第一回目の2ヶ月間の測定結果は、平均して0.089ミリシーベルトで年に換算すると0.53ミリシーベルトになる。専門機関と連携をとり村民の不安解消に努めていきたい。

白石 放射線対策室を作り、村民と委員会を立ち上げ対策を具体化すべきでないか。村長 村民とともにというわけにはいかないが、意見を十分に集約しながら対策室も必要かなと思う。

# 一般質問

## 浅野一成 議員

- 一、教育長不在について
- 二、原発事故による放射能、線量等について
- 三、村独自の緊急雇用について
- 四、専門部署の設置について



浅野 一、教育長不在についての質問は先ほどから数名の議員が質問され、同じ答弁になると思うので答弁はいただかなくて良いです。今は異常事態であることと放射線量が子供にとって一番大事ですから、教育長がいらないと大変であるので、早急に決めていただきたい。村長が適任であったということになれば私は賛成するので、早いうちに決定していただきたいというふうに思います。

二、原発事故による放射能、線量等について、小さな子供（感受性が高い）を守るためにどのような対策を考えているのか。10月2日除染を実施して線量が高い所はどのように考えているのか。

また、来年1月から放射性物質対処特別措置法が施行される訳ですが、早めに計画を立てて実施して行くべきと思うし、原発事故によって風評被害による住宅販売、工業団地販売には厳しいものがあると思うがどう

のような販売対策を考えているのか併せて伺いたい。住民生活課長 村内における線量は概ね0.23から0.8で地区により高低差があるということ、ホットスポットで線量が高い所も数多くみられることも事実です。

対策としては線量の高い箇所、子供の生活環境の状況など踏まえながら不安を早く解消するために線量を低くするのが大前提で、除染によって学校保育所や住宅、通学路、生活道路、公共施設等優先順位を決めながら対策を計画的に進めて行きたい。

土地販売促進課長 風評被害につきましては、農作物をはじめ商工業にも多大な影響を及ぼしております。分譲している各団地についても福島の名前が出ますと敬遠される状況にありますので、現在は営業エリアを原発被災地へ重点を置き販売活動を展開している所です。

村長 放射能対策イコール

除染作業ですので、全体計画の中で最優先は子ども達に関わる場所をまず選んでいこうと。それと住宅地です。高い所が出ているとすれば、特別予算を含めて協議しながら早めに対策したいと思っております。

それから風評被害の各団地、本当に懸念するところなんです。実はラフォーレゴルフ場、運営を断念したんです。福島県振興のため有効活用されたらどうかという話があるので。ですからいろんな角度で考えていきたいというふうに思っています。

浅野 ぜひ今、村長が言ったゴルフ場、県は原発廃炉ですし、それに代わる新エネルギーの場所として太陽光、風車等を誘致するように、ソフトバンクの孫さんと接触、営業活動をして元気な村になるよう願うものです。

四、専門部署の設置について。罹災、災害手続等の事故申請手続及び放射能関

連等、除染計画に基づく実施等煩雑になると思うので専門部署を災害の窓口として設置すべきと思うが伺いたい。

例えば（半壊以上）再建支援制度、村県民税減免、所得税の還付、雑損控除、国民健康保険税の一部負担免除及び医療費の無料、介護保険の減免等があり、支援、減免が受けられなかったということのないよう心配するところであり、専門職として役場を退職された方をお願いしたらと思います。村長 基本的には災害対策の担当課ということで住民生活課で忙しく動いております。住民課で対応できるのか、正直今思っているところです。

除染対策が全体にあるので、人事異動ができるか、臨時採用してその部署に回すか、長期にもなりますので真剣に受け止めたいというふうに思っています。

### ◎賠償指針の見直しを求め要望活動

- ・12/6 文部科学省の原子力賠償紛争審査会より自主避難者等への賠償指針が出される。対象が一部の市町村に限られたものであった。
- ・12/8 県知事へ対象区域拡充の要望活動を行う。
- ・12/19 原発事故に伴う賠償指針の見直しを求める



県南市町村議会議員緊急集会在開催された。



- ・12/22 文部科学省へ緊急要望活動  
県知事、賠償対象外地域の首長、議長が文部科学省等へ抗議、要望を実施。
- ・1/18 福島県白河地方・会津地方原子力損害賠償対策本部設立総会  
県南、会津、南会津地方が一体となり、対象区域見直しと完全賠償の実現を図るため、福島県白河地方・会津地方原子力損害賠償対策本部を立ち上げた。
- ・1/19 文部科学大臣への要望活動  
福島県庁において、平野博文部科学大臣へ署名簿を提出。
- ・1/25 東京電力(株)に対する要求活動  
損害賠償対策本部による東京電力(株)本店への要求活動を実施。福島県民に等しく、賠償指針の対象となるよう強く今後も要請活動を行って参ります。

### ふくしま駅伝2011 選手応援

\*2011年11月20日(日)

\*今年も議会議員一同は、ふくしま駅伝で村の部優勝6連覇を目指し、各区間を力走する選手たちの応援に駆け付けました。福島県民の想いが沢山つまった今回の駅伝。泉崎チームは、見事今年も村の部で優勝、そして市の部も上回る総合13位と健闘しました。チーム一丸となった走りにとっても感動し、選手の一生懸命走る姿に元気をもらいました。これも選手一人一人の努力、チームを支えた関係者各位のご協力によるものと感謝申し上げます。お疲れ様でした！



# 次期定例会のお知らせ！

## 3月2日からの予定です。

一般質問は3月9日(金)の予定

——傍聴にお越し下さい。——

### 議 会 活 動 報 告

【9月】

20日 泉崎村交通対策協議会

21日 秋の全国交通安全運動「テント村」

26日 例月出納検査

28日 表彰審査委員会

30日 泉崎村敬老会

【10月】

1日 泉崎幼稚園運動会

2日 線量低減化支援事業

6日 第3回(10月)議会臨時会  
(統一クリーンアップ作戦)

11日 西白河地方町村議会議長臨時会

17日 八雲会創立15周年記念祝賀会

18日 泉崎第一小学校運動会

19日 泉崎第二小学校運動会

20日 西白河地方町村議会議長臨時会

23日 第23回ふくしま駅伝「泉崎チーム」

24日 結団式

22日 泉崎村農業委員会総会

22日 泉崎村友の会の旅行

23日 泉崎村消防団秋季検閲

24日 議会運営委員会

26日 花いっぱい運動表彰式

26日 例月出納検査

28日 地方要望活動(東北整備局他)

28日 第5回市町村対抗軟式野球大会

11月 選手慰労会

1日 白河地方広域市町村圏整備組合

議会臨時会

1日 西白河地方衛生処理一部事務組合

1日 第1回白河地方水道用水供給企業団

4日 西白河地方町村議会議員ゴルフ大会

7日 第2回地域懇談(太田川)

7日 議会運営委員会

9日 第4回(11月)議会臨時会

9日 第2回地域懇談会(高根)

10日 第2回地域懇談会(福祉センター)

10日 第37回村民文化祭表彰式

11日 第2回地域懇談会(八雲)

11日 第2回地域懇談会(関和久)

13日 平成23年度泉崎村芸能発表会

15日 平成23年度功労者表彰式

16日 第55回町村議会議長全国大会

17日 戦没者追悼式

18日 平成23年度西白河地方市町村

18日 泉崎村農業委員会定例会

20日 泉崎村農業委員会定例会

20日 泉崎村農業委員会定例会

25日 泉崎村農業委員会定例会

25日 泉崎村農業委員会定例会

26日 泉崎村農業委員会定例会

26日 泉崎村農業委員会定例会

26日 泉崎村農業委員会定例会

26日 泉崎村農業委員会定例会

26日 泉崎村農業委員会定例会

26日 泉崎村農業委員会定例会

26日 泉崎村農業委員会定例会

26日 泉崎村農業委員会定例会

26日 泉崎村農業委員会定例会

26日 泉崎村農業委員会定例会

### 編集後記

震災、原発事故、環境汚染、風評被害と様々な災害の一年が過ぎ、新たな年が明けました。今年こそは辰年、昇り竜の如く良い年になって欲しいが、放射能による健康不安や農産物等に対する風評被害などまだ不安が解消されていません。原発事故に伴う原子力損害賠償紛争審査会の中堅指針の見直しを求め、我々議員一同は、村執行部と共に県、国、東電へ要求活動を行って参ります。これからも皆さんのご意見ご要望をお寄せください。

編集・発行責任者

議長 中野目正治

編集委員会

委員長 鈴木 盛利

副委員長 飛知和良子

委員 鈴木 清美

岡部 英夫

小林 勝衛